

認知症マフ（かぎ針編み）の細分化工程表

編み物経験者であれば認知症軽度～中度まで作業実施可能でした。

① 「認知症マフをイメージでき、作業工程手順が理解できる。

（図形の把握・実行機能）



1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

② 7号または8号かぎ針を使用する。（記憶力・選択実行力）



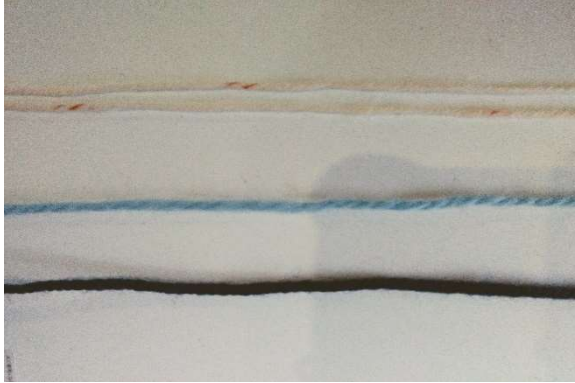
1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

③ 毛糸の太さに応じた毛糸を選択する。（選択実行力・理解力）

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

※毛系の太さと編み糸の参考本数

- 中細以下（1.5mm～2.5mm）→2本～3本どり
- 並太（3mm）→1本どり
- 極太以上（4mm以上）→1本どり



⇔ 中細以下 2本～3本どり

⇔ 並太 1本どり

⇔ 極太以上 1本どり

④ 視力に応じて適切な毛系の太さを選択する。（視力・実行機能）

※目から手元の間隔を20cm離し、5mmの編み目が目視できる太さの毛系を使用する。

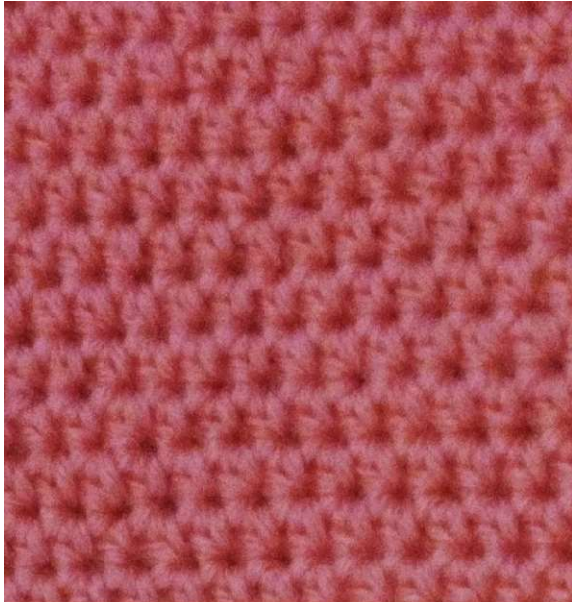


1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

⑤ 完成時に編み目から指が出ない編み目で編む。

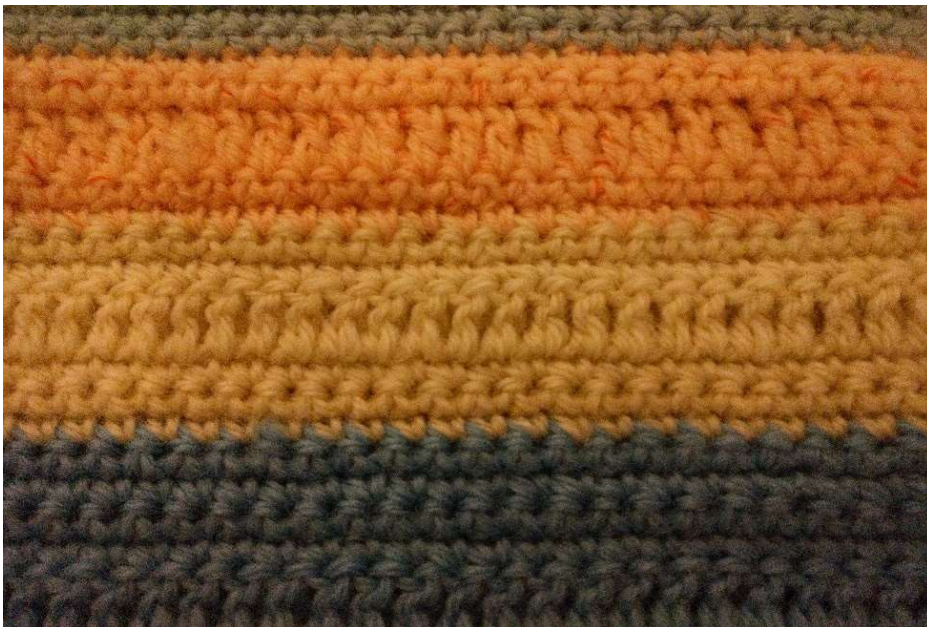
（記憶力・手指の適切な動き・色彩力・想像力）

• 中長編みで編む ※中長編み参照



1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

• こま編みと長編みの組み合わせで編む



4. できない
5. 支援があればできる
6. できる

⑥ 円柱型で最後まで編み上げることができる。

(実行力・手指の適切な動き・イメージ力)

- | |
|--------------|
| 1. できない |
| 2. 支援があればできる |
| 3. できない |

円筒状での出来上がり寸法は縦15cm×横30cm



※見本は中長編み仕様

⑦ 平面編みで30cm×30cmに編むことができる。

(実行力・手指の適切な動き・イメージ力)

← 縦・横 30 cm →



- | |
|--------------|
| 1. できない |
| 2. 支援があればできる |
| 3. できる |

⑧ 平編みで編んだ後、縦方向の両端を合わせて編みとじる。

(実行力・手指の適切な動き・イメージ力)

出来上がり寸法は縦15cm×横30cm

1. できない
2. 支援があればできる
3. できる

